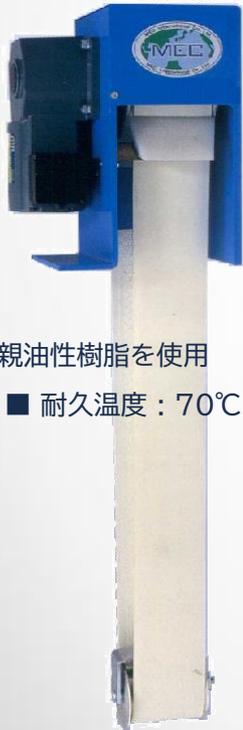


# 各タイプのオイルスキマー比較表

タイプ	ベルト材質	特性
ハイバンド	特殊樹脂	<ul style="list-style-type: none"> <li>●親油性の極めて高い特殊樹脂のため、浮上油をベルトに吸着させて回収。</li> <li>●混入スラッジ等も同時に回収が可能。作業液の回収は少ない。</li> </ul>
メッシュタイプ	金属メッシュ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●金属メッシュの隙間に浮上油分を引っかけて回収するため、作業液を多く回収してしまう。</li> <li>●スラッジの混入により、メッシュ詰まりの問題が多く発生し、油分の回収が困難になる。</li> </ul>
フェルトタイプ	フェルト(布製)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●フェルトベルトに浮上油分を吸収させて回収する機構。</li> <li>●フェルトベルトが作業液を吸収してしまうと、油分の回収をほとんど行わなくなる。</li> </ul>
ロープタイプ	樹脂	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ロープ表面に浮上油を吸着させて回収を行う。ロープ自体の親油性は高い。</li> <li>●表面積が小さいため、回収量が少ないのと、ロープの継ぎ目が切れやすい短所がある。</li> </ul>
ステンレスタイプ	ステンレス板	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ステンレス板の表面に浮上油を付着させ回収。金属ため、ベルト寿命は長い。</li> <li>●ステンレス板のため、全体の回収量は少なく、回収成分もほとんどが作業液。</li> </ul>

## ▼ 浮上油回収装置ハイバンド



- 親油性樹脂を使用
- 耐久温度：70℃

使用前



使用后



## ▼ オイルスキマー油分回収能力比較

